

---

年間学習指導計画作成資料

---

株式会社 教育芸術社

**【本資料について】**

- ・本資料は、教育芸術社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽 1～6 〈132～632〉」に基づいて作成されています。(用紙サイズは、B4 ヨコ向きで、縮小率 86% で作成されています。)

**【指導する月の目安について】**

- ・本資料で示されている扱いは目安となります。各校の実態に応じて、指導される月や学期を調整のうえ、ご活用ください。

**【扱い時数の目安について】**

- ・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています。
- ・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連づけて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。
- ・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

第3学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																
扱い月	扱い時数 合計 60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞			〔共通事項〕							
						歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ			
年間	2	巻頭	音楽リズム 心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	リコーダーのなかま／♪ナイチンゲール 友だち	○	●	○	○					○	○	○	音色			
4	8	1. 明るい歌声をひびかせよう	●ハ長調の楽譜に親しみ、音程に気を付けて階名で視唱したり、視奏したりして、読譜に慣れる。 ●自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と一緒に歌う楽しさを味わう。	・音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	ドレミで歌おう	●		○		●							音色 旋律 強弱 音階 拍の流れ フレーズ	ト音記号 五線と加線 縦線 終止線 プレス		
5				*音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。	◎春の小川	●	●	●	○											
6				・楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	海風きって ☆せんりつづくり	●	○	○	●	●	○	○	●			○			○	
7	9	2. リコーダーとなかよしになろう	●リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。	・リコーダーに親しみましょう。	♪小鳥のために							●		○	○		音色 旋律 音の重なり 拍の流れ	付点2分音符 4分の4拍子 付点4分音符		
7				・きれいな音でふきましょう。	ステップ1・2・3／小さな花 とどけよう このゆめを	○	○	○	●	●	○	●	●			●			○	○
9				・歌に合わせてリコーダーをふきましょう。	♪きらきら星 坂道／雨上がり／かり かり わたれ そよ風					●	○	●	●							
9	6	3. 拍のながれにのってリズムをかんじとろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。 ●反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。	・曲のかんじを生かしてえんそうしましょう。	ゆかいな木きん	●	○	○	●	●	●	●	●				音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化	4分の2拍子		
10				・くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	☆手拍子でリズム									○	●					
11				*日本に古くからつたわの歌のふんいきをかんじとりながら歌いましょう。	◎うさぎ	○	●	●	○											
10	9	4. せんりつのとくちょうをかんじとろう	●旋律の特徴を感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取って聴いたり、楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。 ●旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。	・せんりつ音の上がり下がり気をつけてえんそうしましょう。	あの雲のように	○	●	●	●	●	●	○	●				音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 変化	4分の3拍子 タイ		
11				・せんりつ音の上がり下がりやリズムに気をつけてききましょう。	♪メヌエット 山のボルカ					●	●	●	●							
12				*曲の中で気持ちがいちばんもり上がるころを曲の山といいます。せんりつ音の上がり下がりから曲の山をかんじとって、のびのびと歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎ふじ山	●	●	●	○											
12	9	5. いろいろな音のひびきをかかんじとろう	●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合う音を即興的に表現したり、反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくりましょう。 ●楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏したり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。	・「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	おかしなすきな まほう使い	○	●	○									音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ 反復 問いと答え 変化			
1				・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽									●	●					
2				・重なり合う楽器の音のひびきをかかんじとりながらえんそうしましょう。	パフ	○	○	○	○	●	○	●	●							●
1	4	6. 日本の音楽に親しもう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、お囃子の音楽を聴いたり旋律をつくりたりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。	・日本の楽器の音に親しみましょう。	♪神田囃子／花輪ばやし／小倉祇園太鼓									●	○	●	音色 リズム 速度 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 変化			
2				・3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラドレの音でせんりつづくり											○			●	
3				●旋律や音が重なり合う面白さに関心をもち、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて演奏する。 ●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。	歌おう 声高く ♪かね	○	○	○	●							○			●	●
2	7	7. 音を合わせて楽しもう		・合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	エーデルワイス					●	●	●	●				音色 旋律 強弱 音の重なり 反復 変化			
3																				
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	どこかで春が／ゆりかごの歌／七つの子	●	●	●	○								全般			
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ちびっこカウボーイ 帰り道 ゴー ゴー ゴー きょうりゅうとチャチャチャ こころパレット 春はワクワク また あそぼ よるこびの歌 ミッキーマウス マーチ	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○				
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					【国歌】君が代	●	●	●	●											

●…主となる内容 ○…関連する内容